

偉人・宿敵・盟友……。日本人は中国の指導者になにを見いだしたか？



▼編・解題▲松本和久



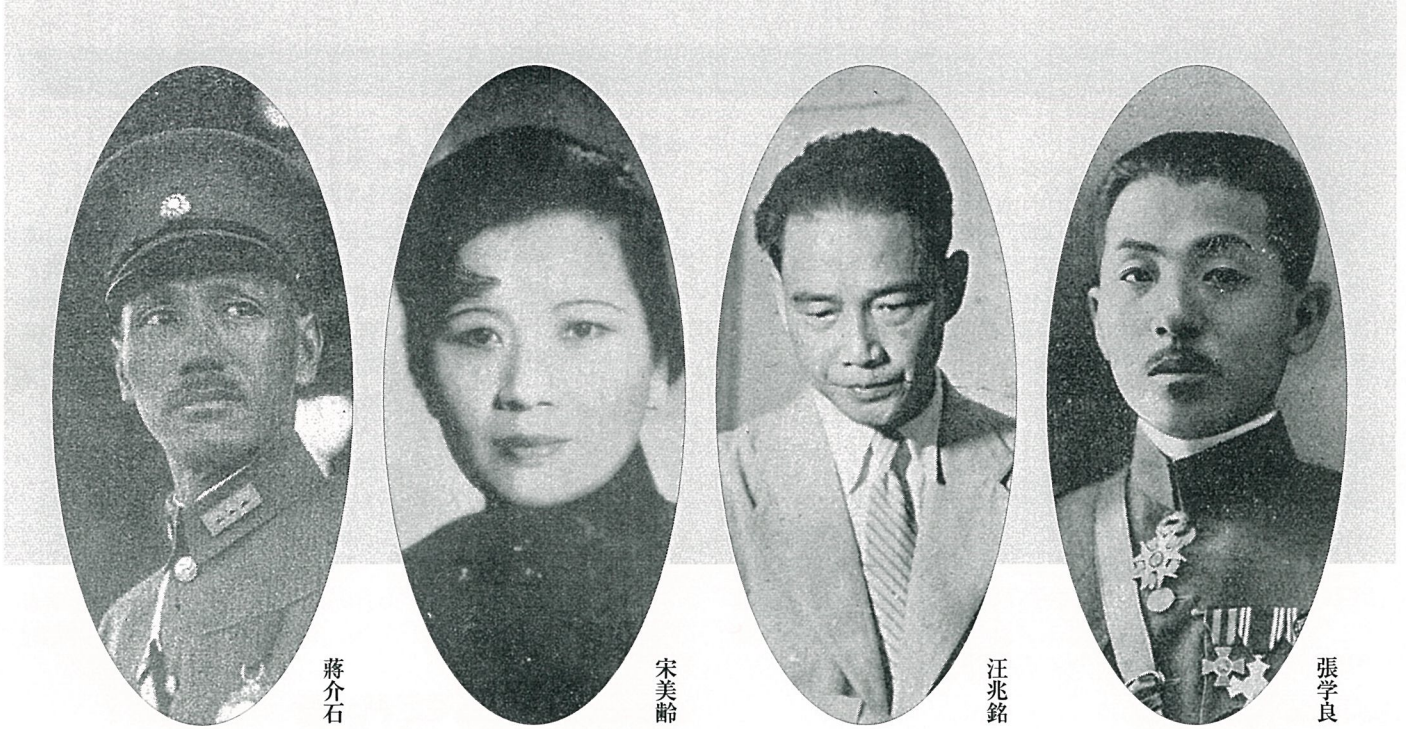
ゆまに
書房 YUMANI
SHOBUN

近代中国指導者評論集成



全10巻

従来の評価の再検討をうながす、基礎的評論集。



蔣介石

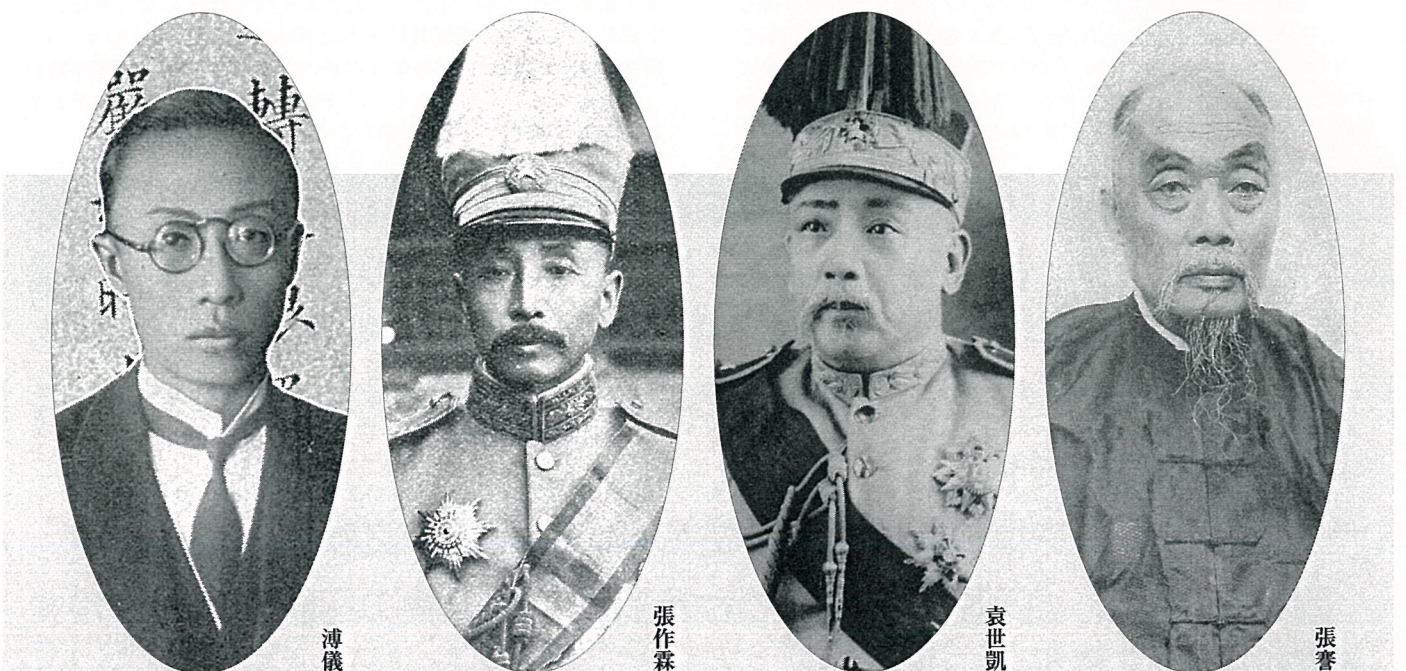
宋美齡

汪兆銘

張學良

刊行にあたって

戦前期の日本が政治経済上、最も大きく関与した国家が中国であった。明治維新以降、日中間では日清戦争、辛亥革命、二十一カ条要求、満洲事変、日中戦争等、政治的事件が頻発した。これに対応しようとする日本の姿勢変化に伴い、中国の指導者達への日本から見た評価も偉人、宿敵、盟友と様々な形で変遷する。本シリーズでは戦前期日本で刊行された、中国の政治指導者に関する人物論のうち、その者に対する明確な評価を打ち出していること、及び伝記的な資料として有用たること基準として、10冊を選択した。これらの資料より、近代の日中関係史において、日本人が同時代の中国人に対して何を見出そうとしたかを探る手がかりとなれば幸いである。



溥儀

張作霖

袁世凱

張勳

◆第1巻◆**蒋介石**

石丸藤太（1937年・春秋社）

本書は川越・張群会談を機に、蒋介石に対する認識を改めるために執筆されたものである。著者は好戦的な言辞で知られた元海軍将校であるが、本書では、蔣を勤儉尚武の風を以て国内外の難事に当たりながら中国統一に邁進する近代的な人物として高く評価している。日中戦争直前における蒋介石評価として興味深い。

◆第2巻◆**宋美齡**

村田孜郎（1939年・ヘラルド雑誌社）

読売新聞東亜部長であった著者は宋美齡こそ「抗戦支那の心臓」と位置づけ、宋の才知に溢れた前半生や西安事変における蒋介石の救出、重慶における抗日女性団体の組織に活躍する姿を描く。資料として宋が重慶で発表した論説や「西安半月記」（西安事変における蒋介石の手記）等の日本語訳を収録する。

◆第3巻◆**汪兆銘**

森田正夫（1939年・興亜文化協会）

1939年5月、汪兆銘の来日後、汪に対する関心が高まったことにより多くの書籍が刊行された。本書はその一冊であり、辛亥革命から日中戦争に至る、汪を中心とした中国政治史を叙述し、末尾で蒋介石を打倒するリーダーとして強い期待を寄せている。また、本書に収録された声明書は『中華日報』（上海における汪政権機関紙）等より訳出されたものであり、資料としての信憑性は高い。

◆第4巻◆**張学良の横顔**

吉本浩三（1932年・赤焔閣書房）

本書は満洲事変前後における張作霖・張学良親子の行状をゴシップ的に描いたものである。張作霖が民衆に対して圧政を敷き、張学良が安逸に耽った挙句、敗軍の将として故郷を追われた姿を強調するなど、満洲事変時における世論の一つを示す資料として評価できよう。

◆第5巻◆**執政溥儀 宣統帝より執政まで**

内山舜（1932年・先進社）

「満洲国」成立後、溥儀の執政就任が発表されたが、あまりに若くして清朝皇帝を退位したため、如何なる人物であるかは知られていなかった。著者はその関心に答えるために、朝日新聞社員として収集した資料を元に、近代中国史を背景に廢帝から天津での生活、執政就任までの流れ、そして溥儀の仁徳ある人柄を描き、新国家の要人としての輝かしい前途を示している。

◆第6巻◆**汪兆銘と新中央政府**

中保与作（1939年・宮越太陽堂書房）

本書は主に汪兆銘派、重慶国民政府、日本政府の公式報道に依拠しながら、汪兆銘の重慶脱出から新政府樹立までの流れを主題としている。特に『南華日報』（香港における汪派機関紙）と中央通信社（国民党の報道機関）との声明の応酬は重慶政府分裂の政治過程の分析として、高い学術的価値を有する。

◆第7巻◆**怪傑 張作霖**

園田一亀（1922年・中華堂）

『奉天新聞』の記者であり、満洲に関する多数の論著を発表した園田一亀による一冊である。本書では馬賊から身を起し、他の軍閥や政治家との対立の中から擡頭し、東三省を統一し事実上の独立政権を築き上げるまでを詳細に叙述し、張作霖に関する最も信頼すべき半生記となっている。巻末に年譜と「奉天軍の現勢」を附す。

◆第8巻◆**大元帥 張作霖**

浅野犀涯（1928年・日華実業社）

著者は本書執筆の目的を、批判の多かった「大元帥政治」が、むしろ日中関係に貢献するものであったことを示すためと説く。本書は張学良や松井七夫らより提供されたという電文や声明を豊富に引用しながら、張作霖が東三省を統一後、北京政府の実力を一時的に握りながらも、他の軍閥や国民革命軍に押され、遂には非業の死を遂げるまでを描いている。

◆第9巻◆**正伝 袁世凱**

内藤順太郎（1913年・博文館）

辛亥革命後、日本の世論では袁世凱は「不学無術」と噂されていたが、本書はその前歴を辿ることで、寧ろ能吏たることを示したものである。朝鮮において日本の外交官を翻弄し、直隸総督時代に天津を回収し、辛亥革命時において混乱の收拾に手腕を発揮した等の事跡を紹介し、成立間もない中華民国において政治を強引に指導する姿勢も高く評価している。

◆第10巻◆**張謇自訂年譜**

張謇著／鈴木沢郎訳（1942年・内山書店）

本書は清末において近代的工場設立や立憲運動に活躍した官僚・張謇が1926年に死去する直前まで自ら作成した『嗇翁自訂年譜』を東亜同文書院教授・鈴木沢郎が翻訳したものである。原文は漢文であるが平易な日本語に訳されており、張謇が関わった産業や政治だけでなく、清末民初の事件にも多く言及しており、中国近代史研究の一助となるだろう。

本書の特色

- 清朝高官、軍閥、国民党幹部など、戦前の近代中国の指導者の人物評論を集成。日本語で書かれ、優れた内容を持ち、希少性のある文献を厳選。
- 日本人が近代中国の指導者をどのように評価していたかを知る絶好の資料。
- 各巻末に解題を附す。
- 中国近代史、日中関係史を学ぶ学生にとって有益な文献集。
- 日中両国共に、従来悪玉論で片づけられていた人物の再評価をうながすための基礎文献集。

近代中国指導者評論集成 全10巻

[編・解説] 松本和久

A5判/上製/クロス/カバー ●揃定価：本体145,000円+税 ISBN978-4-8433-5014-0 C3323

●第1回配本・全5巻 揃定価：本体83,000円+税 ISBN978-4-8433-5015-7 C3323 2016年5月刊行予定

- ◆第1巻◆ 蔣介石 (石丸藤太著・1937) 定価：本体17,000円+税 ISBN978-4-8433-5017-1
- ◆第2巻◆ 宋美齡 (村田孜郎著・1939) 定価：本体13,000円+税 ISBN978-4-8433-5018-8
- ◆第3巻◆ 汪兆銘 (森田正夫著・1939) 定価：本体21,000円+税 ISBN978-4-8433-5019-5
- ◆第4巻◆ 張学良の横顔 (吉本浩三著・1932) 定価：本体19,000円+税 ISBN978-4-8433-5020-1
- ◆第5巻◆ 執政溥儀 宣統帝より執政まで (内山舜著・1932) 定価：本体13,000円+税 ISBN978-4-8433-5021-8

●第2回配本・全5巻 揃定価：本体62,000円+税 ISBN978-4-8433-5016-4 C3323 2016年11月刊行予定

- ◆第6巻◆ 汪兆銘と新中央政府 (中保与作著・1939) 定価：本体11,000円+税 ISBN978-4-8433-5022-5
- ◆第7巻◆ 怪傑 張作霖 (園田一亀著・1922) 定価：本体18,000円+税 ISBN978-4-8433-5023-2
- ◆第8巻◆ 大元帥 張作霖 (浅野犀涯著・1928) 定価：本体11,000円+税 ISBN978-4-8433-5024-9
- ◆第9巻◆ 正伝 袁世凱 (内藤順太郎著・1913) 定価：本体11,000円+税 ISBN978-4-8433-5025-6
- ◆第10巻◆ 張謇自訂年譜 (張謇著/鈴木沢郎訳・1942) 定価：本体11,000円+税 ISBN978-4-8433-5026-3

植民地帝国人物叢書 全64巻+別巻

[監修・解説] 谷ヶ城秀吉/永島広紀/加藤聖文 ●揃定価：本体1,069,000円+税 ISBN978-4-8433-3840-7 C3321

- 台湾編・全19巻 揃定価：本体295,000円+税
- 朝鮮編・全20巻 揃定価：本体362,000円+税
- 満洲編・全25巻+別巻 揃定価：本体412,000円+税

戦後日中交流年誌 1945-1972 全17巻

[解説] 大澤武司 ●揃定価：本体255,000円+税 ISBN978-4-8433-4896-3 C3321

近代中国都市案内集成 大連編 全18巻

[監修・解説] 松重充浩/木之内誠/孫安石 ●揃定価：本体318,000円+税 ISBN978-4-8433-4993-9 C3325

近代中国都市案内集成 北京・天津編 全13巻

[監修・解説] 吉澤誠一郎 ●揃定価：本体283,000円+税 ISBN978-4-8433-3291-3 C3325

近代中国都市案内集成 上海編 全12巻

[監修・解説] 孫安石 ●揃定価：本体277,000円+税 ISBN978-4-8433-3534-5 C3325

香港都市案内集成 全13巻

[監修・解説] 濱下武志/李培徳 ●揃定価：本体197,000円+税 ISBN978-4-8433-4392-0 C3325

近代台湾都市案内集成 全20巻

[監修・解説] 栗原純/鍾淑敏 ●揃定価：本体330,000円+税 ISBN978-4-8433-4229-9 C3325

シリーズ・近代アジアの都市と日本

ゆまに書房 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-7-6 TEL.03(5296)0491 FAX.03(5296)0493 <http://www.yumani.co.jp/>

ご注文書	ゆまに書房 Tel.03(5296)0491/Fax.03(5296)0493 年 月 日		取扱店	※毎度ありがとうございます。お申し込みはぜひ当店へ。	
	近代中国指導者評論集成 全10巻 揃定価：本体145,000円+税 ISBN978-4-8433-5014-0 C3323			セット	
お名前					
ご住所	TEL ()			16.05/01.7000.RS	